



2008年5月8日

各 位

会 社 名 大日本住友製薬株式会社  
代表者名 代表取締役社長 宮武 健次郎  
コード番号 4506 (東証・大証・名証各第1部)  
問合せ先 執行役員広報部長 竹田 信生  
(TEL. 06-6203-1407)

### アストラゼネカ社との共同研究から創製された 新規アレルギー性疾患治療剤が臨床開発段階に移行

大日本住友製薬株式会社（本社：大阪市、社長：宮武健次郎）は、アストラゼネカ社（本社：英国、最高経営責任者：David Brennan）と共同して、新規アレルギー性疾患治療剤の臨床開発を開始することにいたしましたのでお知らせします。

当社は、炎症・アレルギー領域を研究指向領域の一つと位置づけ、新しい作用メカニズムを持つアレルギー性疾患治療剤の探索研究を進めてきました。この探索研究の中から有望な化合物群を見出し、そのことを契機として2004年よりアストラゼネカ社と新規アレルギー性疾患治療剤に関する共同研究を実施することとなり、今般その成果として両社で開発化合物を見出すことに成功しました。

この開発化合物は Toll-like receptor 7 (TLR7) に対するアゴニスト作用を有する免疫調節剤であり、気管支喘息、アレルギー性鼻炎などのアレルギー性疾患において長期寛解をもたらす治療薬になることが期待されます。

両社の開発販売契約に基づき、当社は日本、中国、韓国、台湾をテリトリーとして、アストラゼネカ社はこれら4カ国を除く全世界をテリトリーとして開発、販売を行います。さらに、当社は米国および欧州主要国での共同販売促進（コ・プロモーション）のオプション権を有しています。アストラゼネカ社の販売後は、同社より、製品販売に伴うロイヤルティーの支払いを受けることとなります。

本剤は、今般、アストラゼネカ社が欧州で第I相臨床試験を開始し、本邦でも当社が第I相臨床試験を準備中です。両社で引き続き開発を共同で迅速に進めることにより、本剤が気管支喘息やアレルギー性鼻炎に悩む患者様を長期的な薬物療法から解放し、通常の生活を送っていただくことに貢献する画期的な治療薬になるものと期待しています。

以 上

(ご参考)

TLR (Toll-Like Receptor : Toll 様受容体) : 病原体由来の種々の成分の認識に関与する膜タンパク群の総称。ヒトでは TLR1~TLR10 の 10 種類が報告されており、TLR7 は 1 本鎖 RNA の認識に関与する。近年の先進国を中心としたアレルギー疾患の急増は、衛生環境の改善や抗生物質の多用により乳幼児期に微生物に感染する機会が減少したことが一因と考えられている(衛生仮説)。TLR7 アゴニストは微生物感染を化学的に模倣することにより Th1 型免疫応答を強く誘導し、アレルギー患者において Th2 側に偏った免疫系の Th1/Th2 バランスを Th1 側へ是正することから、新規なアレルギー性疾患治療薬としての有用性が期待される。

長期寛解 : 病気そのものは完全に治癒していないが、薬物療法を行わなくても、病気の症状が長期間にわたり軽減または消失すること。

以上